

## 世耕弘成 新会長 あいさつ

先程理事会でご指名ご承認いただきまして、公益社団法人全日本アーチェリー連盟の会長に就任いたしました世耕弘成でございます。まずこの場をお借りして、昨年7月8日に凶弾に倒れてお亡くなりになりました安倍前会長の、日本のアーチェリーあるいは、世界のアーチェリーの発展に対する多大なるご功績ご尽力に改めて感謝を申し上げたいと思いますし、この場を借りて心からご冥福をお祈りしたいと思います。

実は今日私が着ているこのワイシャツは、ブエノスアイレスで東京大会が決まったときに着ていたユニフォームになります。本当はスーツもネクタイもあるのですが、そこまでやるとやりすぎだろうということで、今日はワイシャツだけを着て参りました。そのとき私は官房副長官として安倍総理に同行しておりまして、鮮烈な思い出であります。

あの時はロシアのサンクトペテルブルグでG20がありまして、それを途中で抜けて、政府専用機で移動しました。ボストンで給油してブエノスアイレスに入ったという形の強行軍でした。その機中でも安倍さんは一生懸命英語で招致のスピーチを練習されていたことも思い出しております。着いたら、すぐレセプション、翌日にはプレゼンテーションで投票という、本当にタイトな日程でありましたけれども、安倍さんはじめ、みんなで力を合わせてオリンピックを勝ち取れたことを大変懐かしく思っております。

その後、せっかく招致できたオリンピックにコロナ禍がぶつかってしまい1年延期、そして無観客ということになりました。しかもコロナを防御するという難しいオペレーションが求められましたけれども、ここにいらっしゃる皆様のご協力ご尽力があつて、無事大会を終了することができて、世界から、この日本の運営へのホスピタリティに関して大変な評価もいただいたわけであります。

こういう大変な実績を残された安倍さんの後を引き継ぐ、また特に安倍さんのアーチェリー、学生時代からやっておられたアーチェリーへの思いを引き継ぐという事に対して、大変厳粛な思いでありますし、光栄に感じているわけであります。しっかり会長として治めてまいりたいというふうに思います。

2022年には、スポーツ庁から第3期スポーツ基本計画が公表されました。第1期、第2期の取り組みをしっかりと踏襲しながら、スポーツを取り巻く環境や、社会状況の変化に対応して、スポーツが持つ価値をさらに高めていかなければいけないと思います。東京オリンピック、パラリンピックのレガシーの継承、発展に向けて、まず競技力の向上はもちろんですけれども、特に選手、指導者のコンプライアンスの問題、団体のガバナンスの充実、こういったことに取り組んでいかなければならないと思います。

今日も進行を見ておりますと、本当にコンプライアンス、ガバナンスに大変留意をして進めておられるなということ、大変痛感したわけでありますけれども、今後もこうした取り組みをしっかりとやっていかなければなりません。

そしてアーチェリーについても、競技の環境整備ですとか、選手の育成、あるいは裾野を広げて行くために、いろいろな学校における運動部、アーチェリー部の活動をサポートしていくなど、しっかり取り組まなくてはいけない課題はたくさんあります。財政的にもかなり厳しいというお話もうかがわせていただいております。国や地方自治体はもちろんのこと、関係団体や、民間企業やあるいは医療機関からも、いろいろとご協力をいただかなくてはいけないと思っております。その際には私の人的ネットワークもぜひフル活用していただきたいと思っております。

われわれ連盟は、アーチェリーを通じて、社会に貢献していくことを目指して、役職員が力を合わせて各種事業を推進して参りたいと考えておりますので、公益社団法人の社員の皆様の、そして関係諸団体の皆様のますますのご支援とご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、最後になりますが、穂苅理事長のこれまでの大変なご貢献にも、心から感謝を申し上げます。今後も顧問としてしっかりご指導いただくようよろしくお願い申し上げます。

会長として一生懸命務めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。  
ありがとうございました。

以上